

実技勉強会 Report Vol. 1

◇中部東海ブロック実技勉強会

日時：2013年4月7日（日）10:00～16:30

場所：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

実行委員：蛭田 太

協賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、フクダ電子(株)、(株)小池メディカル、(株)ケイ・ジャパン

今年に入り初めての実技勉強会が名古屋で開催されました。当日は低気圧の影響で、新幹線や在来線までもが運行の乱れがあり、無事に開催できるか心配されましたが、幸運にも移動の際の時間帯は問題なく動いてくれ、無事に時間通り開催することができました。また、これまで“日本加圧トレーニング学会”主催であった勉強会でしたが、今回より“KAATSU JAPAN(株)”主催となり、より実技に特化した勉強会として、新たにスタートしました。

まず、KAATSU JAPAN 西社長より、本勉強会の主催主が学会から KAATSU JAPAN に変わった経緯や、また昨今、巷でにわかに騒がしくなっている“不正競争防止法”による保護に関し、KAATSU がブランドとして成り立っており、それ故、その QUALITY の維持・向上に努めていくため、このような勉強会等の必要性について話をいただきました。

続いて、同じく KAATSU JAPAN の清水より、ベルト、特に空圧式ベルトの特性と取扱い方法についての解説がありました。自身が日々使っている器具の特性を知り、正しく扱っていくことも加圧トレーニングを指導するにあたり重要な事であると言えます。



そして午前中の講義は、井上整形外科の井上 Dr.より“基本圧表を基にした適正圧の見極め方法”というテーマで熱く語っていただき、後半は正しいベルトの巻き方のおさらいも含め実際の実技指導も行われました。「ベルトの装着はベルトを上手にフィッティングさせるイメージで…」等というように、様々な例を挙げていただき、装着圧・適正圧について具体的にイメージをしていくことで理解を深めていきました。



午後の講義は、大阪 PCP の栗田さんより“加圧トレーニングのプログラム”というテーマで、プログラムをデザインするというを分かり易くお話していただきました。“運動の力積”“コンセントリックなトレーニング”等々、興味深いキーワードが盛りだくさんの、充実した内容でした。後半はメトロノームでのリズムを使った実技指導も行われました。

次に、坂田医院の坂田 Dr.より“ケーススタディ”ということで、具体的に現場でのクライアントとのやりとりで、模範的な説明、NG など等を解説していただきました。

最後に、AED による心肺蘇生法の実習を行ないました。このような日頃の訓練が、とっさの時の、いち早い適切な対応につながります。

このように、加圧トレーニングの指導をしていく上で、知識の再認識・スキルのレベルアップなど、指導に携わる者として、日々理解を深め、自己研鑽していくことが重要です。

資格者の皆様には、プロの加圧トレーニング指導の集団の一員として、今後もふるってこのような実技勉強会に参加していただきたいと思います。また、この勉強会自体の質も、より現場に即した、実り多いものに発展させていきたいと考えています。